

ティーチングポートフォリオ

美術学部 美術表現学科

鶴巻史子

1 教育の責任(教育活動の範囲、何を担当しているか)

教育活動の範囲として美術表現学科デザイン・メディア芸術コースの科目を担当している。科目名は以下の通りである。

- ・スタディスキルズ (大美1年)
- ・メディア芸術基礎 (大美1年)
- ・情報デザインⅠ (大美2年)
- ・情報デザインⅡ (大美2年)
- ・情報デザインⅢ (大美3年)
- ・情報デザインⅣ (大美3年)
- ・卒業研究Ⅰ (情報デザイン) (大美4年)
- ・卒業研究Ⅱ (情報デザイン) (大美4年)

2 教育の理念(育てたい学生像、教育の目標)

学生たちにはデザインの本質を扱うことができるデザイナーに育って欲しいと考えている。教育の目標は以下の通りである。

- ・情報デザインに必要な知識と表現力を修得する
- ・能動的にユーザーリサーチを行い、その結果を踏まえてデザインに落とし込むことができる力を身につける
- ・他者に自分の考えや表現内容をわかりやすく伝えること、プレゼンテーション力を身につける

3 教育の方法

講義、デザインサーベイ、リサーチ、グループディスカッション、制作、中間発表、プレゼンテーション等で授業を進めている。制作は、PC (Mac) を利用し、グラフィック、アニメーション、モックアップ制作、プレゼンテーションソフトを用いている。講義や発表では、デジタル資料、紙資料、Google クラスルームを利用している。各自が自分の表現活動をふりかえり、スムーズにデザインのブラッシュアップができるよう、独自のリフレクションシートを作成し、活用している。リフレクションシートは毎授業終わりに学生が記入し、それに対してコメントやアドバイスを行えるようにしている。

4 教育の成果

授業での課題制作だけでなく、学内のコンクールやデザインコンペ、学外の産官学協同プロジェクト等に積極的に参加する学生が増えている。特に、産官学協働プロジェクトでは、デザインが商品化された学生が多数おり、就職や卒業の進路に向けて優れた成果へとつながっている。

5 教育の改善と今後の目標

これまでは教員が自作した教材を用いて授業を行っていたが、次年度からは、現在の時代に合ったデザインテクニックの教科書を活用したり、「今のデザイン」についても紹介しながら、目標を達成していきたい。